

- 1 派遣期日 令和5年 11月 17日（金） ～ 11月 17日（金）
- 2 派遣先 学校名（会場名） 習志野市立大久保東小学校
所在地 千葉県習志野市大久保2-12-1
<https://www.city.narashino.lg.jp/school/daitou/index.html>

3 研修内容

(1) 視察校における研究への取組

研究主題：思考し表現する力を育む国語科学習
～自分の考えをもち、広げ深めるための指導の工夫～

習志野市立大久保東小学校では、昭和53年度から国語科の研究に取り組んでいる。教材は、説明的文章を中心にしており、具体的で深まりのある国語科研究を目指して研究を進めている。

令和元年度からは、『問い』の視点をもちながら、文章をより正確に理解できれば、思考し表現する力がさらにつくのではないかと考えたこと、副主題を「確かな読みにつながる指導の工夫」と設定し、研究を進めていた。その中で、発問の工夫や思考ツールの活用などを通して、内容面と構造面のどちらも理解が深まるように指導をしてきた。

そして、今年度は、文章の内容を理解した上で、子供たちが自分の考えをもち、広げたり、深めたりできるような指導を行っている。

(2) 公開授業

第6学年国語科 THE 哲学。なんでも哲学に挑戦しよう！～筆者の考えと自分の考えを比べて「心の世界」を広げよう～
学習教材 「ぼくの世界、君の世界」（教育出版 6年下）

① 本時のねらい・学習内容

本時は、自分の立場をもち、「アニメ」に対する筆者の考える事例から、自分の世界と他の人の世界について読み取ることができることをねらいとしている。

前時までには、「電球」や「あまみ」、「痛み」など、教材の中で出てきた哲学の事例について付箋を使いながら、筆者の考えと自分の考えを比較して教材を読み進めてきた。本時では、「アニメ」の事例を通して、「人と人が分かり合うことができるのか」ということについて自分の考えをまとめたり、話し合ったりしていた。

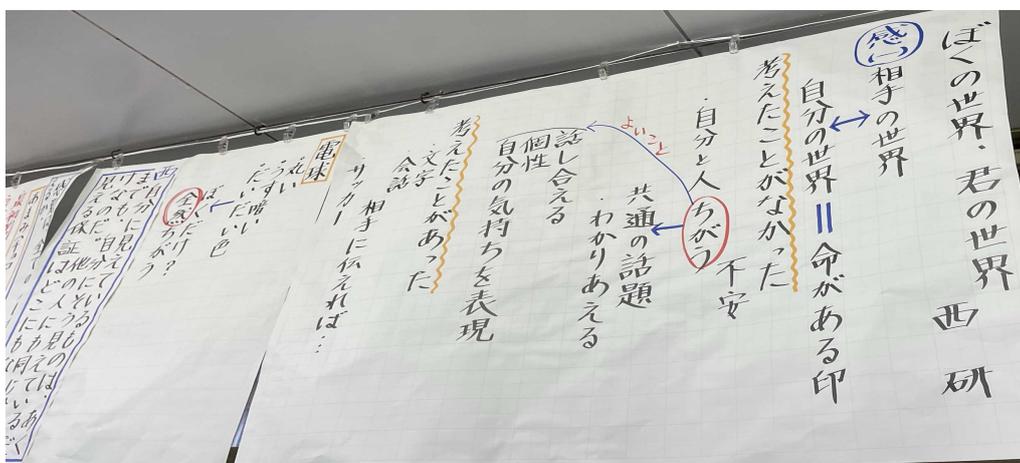
② 授業の展開・教室環境

教室には、前時まで読み取ったことをまとめた掲示物や、児童のノートが多く掲示されており、児童がいつでも振り返ることができる環境づくりがされていた。児童の教科書にも、今まで読み取ってきたことを、筆者の考えは赤い付箋、自分の考えは青い付箋で分けて貼り、学習の積み重ねが見て分かるようになっていた。

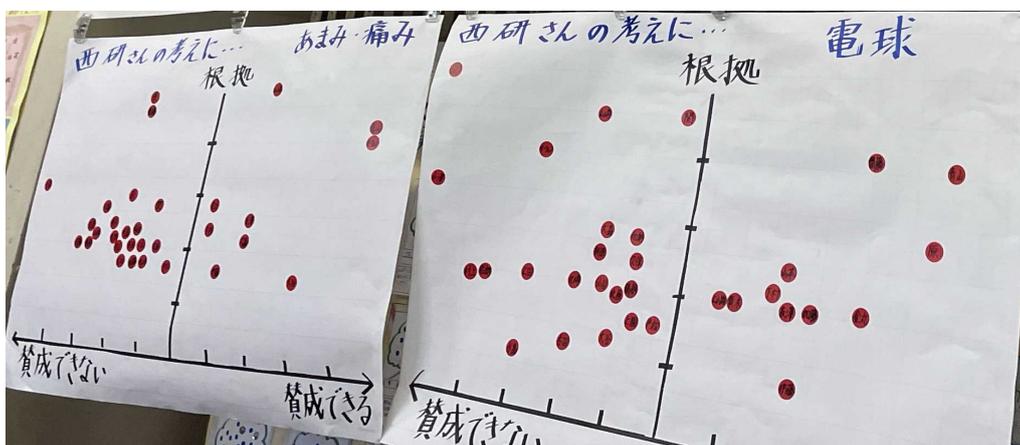
本時の学習では、「アニメ」の事例から、「人と人が分かり合うことができるのか」について、教科書に貼ってある付箋をノートに貼って動かしながら、自分の考えを整理する活動が行われた。自分で教科書に貼った付箋の言葉を選びながら、整理していく中で、自分の立場を明確にして、自分の考えをもつことができていた。

本時の最後には、マトリクス表に自分の考えを記す活動を行っていた。横軸が「筆者の意見に対して賛成か反対か」、縦軸が「自分の考えに根拠をもつことができたか」という視点で振り返りができるようになっていた。毎時間授業の終末に取り入れることで、自分の考えの変容に気付いたり、根拠がもてるようになったことに気付いたりする児童もいた。また、普段何気

なく読み過ごしてしまいがちな修飾語や文章の語尾などを「お宝言葉」として意識させており、児童はお宝言葉を軸に自分なりの考えをもって読み進めることができていた。疑問点を児童同士で話し合ったり、教師が「教科書ではどう書いてある?」「自分だったらどう考える?」と問い返したりしながら解決しており、内容をより深く理解できる工夫が随所で取り入れられていた。



(前時までに読み取ったことの掲示物)



(マトリクス表を使っでの振り返り)

4 感想

大久保東小学校では、どの学級でも、国語の学習の積み重ねの掲示物があり、学習した内容をいつでも振り返ることができるようになっていた。前時までに何を学習したのかが見て分かるため、児童も安心して学習に取り組むことができていた。授業を行う上では、授業デザインをするだけでなく、教室環境を整えていくことも大切だと感じた。

自分の考えをもつ場面では、思考ツールを使用して、筆者や自分の考えを整理する時間があつた。思考ツールを使用することで、考えを整理したり、分析したりできるため、考えが全く思い浮かばず、手が止まってしまうという児童がいなかった。自分の立場を明確にし、考えを表現する場での思考ツールの活用は有効的だと感じた。

全体で意見をまとめていく場面では、教師からの「どんなところでそう思ったの?」「具体的に言う?」「筆者の考えは?」「自分と比べてどう感じた?」などの問い返しが多くあつた。問い返しがあることで、児童は根拠を明確にして考えを表現することができていたため、問い返しの重要性を感じた。

今回学んだことを今後の授業実践に取り入れ、授業改善等に生かしていきたい。